

■令和8年4月策定「松戸市地域公共交通計画」第4章 実施施策

方針	施策	取組	事業	事業内容	実施主体							進捗状況・実施期間								
					鉄道	バス	タクシー	松戸市	他自治体	関係団体	市民	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	中長期		
1 基幹的な役割を果たす公共交通の利便性の維持向上	1 鉄道の利便性の向上	1 鉄道駅の安全性や利用しやすいの向上	1 駅舎改良	・広域交流拠点である松戸駅で、東西道路の幅員やラチ内コンコースの拡張などにより、鉄道駅と街との回遊性の向上や駅舎内の移動円滑化を推進。	○				○					実施	実施					
	1 鉄道の利便性の向上	1 鉄道駅の安全性や利用しやすいの向上	2 鉄道駅の利便性・安全性向上に向けた整備	・鉄道駅では、バリアフリーや転落防止をはじめとした利便性・安全性の向上のため、必要な整備を推進。 ・JR常磐快速線松戸駅やJR武蔵野線市内各駅では、「ホームドア整備計画」(JR東日本)期間内の設置を目指す。	○				○					検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	実施	
	1 鉄道の利便性の向上	1 鉄道駅の安全性や利用しやすいの向上	3 鉄道駅周辺における移動円滑化の推進	・鉄道駅では、地域交通ネットワークの拠点として、道路特定事業や交通安全特定事業を組み合わせ、鉄道駅周辺の主要施設までの特定経路の移動円滑化を推進。	○				○					検討	検討	検討	検討	検討	検討・実施	
	1 鉄道の利便性の向上	2 新たな鉄道ネットワークの可能性の検討	1 市内の鉄道ネットワークの利便性の向上	・市内の鉄道ネットワークをより便利で利用しやすくするために、新松戸駅の快速停車や千駄堀地域での新市街地整備と合わせた新駅設置などの施策について、実現可能性を検討。					○	○				検討	検討	検討	検討	検討	検討	
	1 鉄道の利便性の向上	2 新たな鉄道ネットワークの可能性の検討	2 地下鉄8・11号線延伸の検討	・松戸市、葛飾区、墨田区、江東区で構成する「地下鉄8・11号線促進連絡協議会(昭和61年)」において、「交通政策審議会第19号答申(平成28年(2016年)4月)」に基づき、延伸実現の可能性について調査研究を進める。					○	○				調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	
	2 路線バスの維持・利便性の向上	3 路線バスの持続性の向上	1 定時性・速達性の向上	・路線バス等の公共交通の運行の支障となっている渋滞箇所や右折等で時間を要している箇所について、信号現示の見直しや交差点改良等について関係機関と協議し、バス路線の定時性・速達性確保に向けた検討を進める。 ・地域交通ネットワークを支える基幹的な公共交通として、質の高いサービスを提供し続けるため、路線バスの運行の効率化に向けた様々な方策について検討。						○					検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
	2 路線バスの維持・利便性の向上	3 路線バスの持続性の向上	2 ネットワーク再編等による路線の効率化の検討	・限られた資源を有効活用し、効率的かつ持続可能な交通サービスを実現するため、地域・行政・事業者が連携・協働しながら、利用実態など必要に応じてバス路線の再編を検討。						○					検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施
	2 路線バスの維持・利便性の向上	4 路線バスの利用しやすいの向上	1 バス待ち空間の魅力向上に向けた整備	・より多くの方がバスを利用したいと思えるような環境、仕掛けづくりを推進するため、バス停の上屋等のハード面の整備だけでなく、バス接近情報や市広報誌のデジタル版等を閲覧できる二次元バーコードの設置、動画コンテンツの提供などについて推進。 ・公共施設や地域の再整備と併せて、バス停への上屋等の設置やバスベ이의整備など、快適に利用できる仕掛けについて検討。 ・整備方法のひとつとして、バス路線沿線の企業との連携も検討。						○					検討	検討	実施	実施		

方針	施策	取組	事業	事業内容	実施主体								進捗状況・実施期間										
					鉄道	バス	タクシー	松戸市	他自治体	関係団体	市民	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	中長期					
2	多様なニーズに対応する移動手段の活用	3	タクシーの利便性の向上	5	タクシーの利用環境の向上	1	タクシー乗り場の新設の検討	・タクシーを利用しやすい環境の整備に向け、拠点周辺、病院、商業施設・公共施設、大規模団地の周辺などを設置場所の候補としながら、地域の実情に即して、タクシー乗り場の新設を検討。			○	○		○			検討	検討	実施	実施			
		3	タクシーの利便性の向上	5	タクシーの利用環境の向上	2	タクシー利用環境の整備	・交通弱者を支援する移動手段のひとつとして、誰でも使いやすい車両(ユニバーサルデザインタクシー)の利用を促進。 ・福祉タクシー利用券や妊産婦向けタクシー利用料助成、多胎児家庭支援タクシー利用料助成など、現在実施している補助制度やサービスを推進。			○	○		○			継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
		4	地域の実情に即した移動手段の実現	6	既存の多様な移動手段の維持・促進	1	松戸市コミュニティバスの維持・改善	・既存のコミュニティバス(中和倉コース)は、利用実態や収支率などを踏まえ、維持・改善。 ・高塚新田地区において、市内初のワゴン車によるコミュニティバスの運行を実現。		○	○	○		○	○			継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
		4	地域の実情に即した移動手段の実現	6	既存の多様な移動手段の維持・促進	2	福祉の観点の移動の維持・改善	・グリーンスローモビリティ【松戸モデル】について、地域内移動の充実に加えて、公共交通との連携による移動範囲の広がりも踏まえ、引き続き持続的な運行を支援。 ・介護予防・日常生活支援総合事業による移動を含む付き添い支援など、高齢者の個別ニーズに応じた移動支援を推進。 ・福祉有償運送や障害者の通院等のためのタクシー費用助成などの活用を通して、公共交通の利用が難しい方の移動支援を推進。		○	○	○		○	○			継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
		4	地域の実情に即した移動手段の実現	6	既存の多様な移動手段の維持・促進	3	シェアサイクルの拡充と利用促進	・シェアサイクルの利用促進を図るとともに、ステーションの拡充を進める。 ・公共交通との連携や地域内の回遊性向上を目指し、より効果的な活用を推進。		○	○	○		○	○			継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
		4	地域の実情に即した移動手段の実現	7	多様な移動手段の導入に関する検討	1	多様な移動手段の選択肢拡大に向けた特性の整理	・既に導入されているコミュニティバスやグリーンスローモビリティのほかにも、乗合タクシーやデマンド交通、ライドシェアなど、多様な移動手段について特性の把握と整理。		○	○	○				○		実施	実施				
		4	地域の実情に即した移動手段の実現	7	多様な移動手段の導入に関する検討	2	地域の実情の分析	・地域の課題や実情を的確に捉えるため、市内の地域をいくつかのブロックに分け、様々な指標を用いて各ブロックの実情を分析し、可視化。		○	○	○				○		実施	実施				
		4	地域の実情に即した移動手段の実現	7	多様な移動手段の導入に関する検討	3	新たな移動手段の導入に関する検討	・新たな移動手段の導入にあたっては、地域の実情を踏まえ、その必要性や実現可能性を十分に検討するとともに、各移動手段の特性や位置付け、相互の関係性を考慮しながら、地域や交通事業者との調整を重ね、慎重に検討を進める。		○	○	○				○		検討・実施	検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施
		4	地域の実情に即した移動手段の実現	8	次世代モビリティサービスの調査・研究・導入検討	1	次世代モビリティの研究	・高齢化に伴う移動手段の確保や運転手不足への対応、さらにSDGsやカーボンニュートラルといった社会課題の解決の観点から、パーソナルモビリティなどを含めた次世代モビリティの調査・研究を推進。		○	○	○				○		調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
		4	地域の実情に即した移動手段の実現	8	次世代モビリティサービスの調査・研究・導入検討	2	自動運転車両の導入検討	・地域や交通事業者の実情に即して、自動運転車両の導入検討を行うにあたっては、自動運転レベル4の社会実装に向けた実証実験により、安全性・社会的受容性・持続可能性などの観点から、有効性および実現性の検証を行い、計画的な導入を進める。 ・初期導入費に加え、長期的な運用・維持にかかるコストを見据え、国や県の補助金の活用に加えて、交通事業者との連携や企業からの協賛など、多様な財源確保による現実的かつ持続可能な運用体制の構築を含めて検討。		○	○	○				○		検討	検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施	検討・随時実施

方針	施策	取組	事業	事業内容	実施主体								進捗状況・実施期間															
					鉄道	バス	タクシー	松戸市	他自治体	関係団体	市民	その他	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	中長期										
4	7	鉄道駅を核としたまちの整備	12	鉄道駅とまちが一体となった拠点の魅力向上	1	広域交流拠点の魅力向上に向けた検討	・松戸駅周辺の整備に併せて、回遊性と移動の利便性を高めるため、次世代モビリティの導入やモビリティ・ハブの機能強化を検討。	○	○	○	○							検討	検討	検討	検討	検討						
							・鉄道事業者が行う松戸駅の駅舎改良に併せて、西口ペDESTリアンデッキの改良を行う。	○	○	○	○												検討・順次整備	検討・順次整備	検討・順次整備	検討	検討	
							・新庁舎をはじめとする公共施設の再編・整備や、新拠点ゾーンの整備を進めるとともに、公共サイン等を設置し、歩いて移動しやすいまちを目指す。	○	○	○	○													検討・順次整備	検討・順次整備	検討・順次整備	検討・順次整備	検討・順次整備
	7	鉄道駅を核としたまちの整備	12	鉄道駅とまちが一体となった拠点の魅力向上	2	交流拠点の魅力向上に向けた検討	・新松戸駅周辺地域において、交通利便性の高さを活かした魅力あるまちづくりを目指し、駅前広場と鉄道駅周辺の連続性を創出した公共交通と歩行者中心の空間形成を推進。	○	○	○	○								検討	検討	検討	検討	検討					
							・新八柱・八柱駅周辺地域において、乗り継ぎの利便性や安全性の向上、無電柱化によるバリアフリー化など、公共交通が使いやすい駅前広場の整備を推進。	○	○	○	○													順次整備	順次整備	順次整備	順次整備	順次整備
	7	鉄道駅を核としたまちの整備	12	鉄道駅とまちが一体となった拠点の魅力向上	3	生活拠点の利便性向上に向けた検討	・北小金駅南口では、北小金駅南口東地区第一種市街地再開発事業により、都市基盤施設の整備やオープンスペースの創出などを通じて、鉄道駅へのアクセスとなる歩行者空間の充実や鉄道駅周辺の賑わい創出を図る。	○	○	○	○								検討・順次整備	検討・順次整備	検討・順次整備	検討・順次整備	検討・順次整備					
							・北小金駅北口では、交通利便性の向上を目指し、市街地再開発事業等による駅前広場やアクセス道路の整備、駐輪場の集約を推進するとともに、鉄道駅の南北往來の円滑化に向けて関係者との協議を進める。	○	○	○	○													検討	検討	検討	検討	検討
8	公共交通の利用につながるインフラ整備	13	快適で安全・安心な移動環境の整備	1	歩行環境の整備に向けた検討	・鉄道駅やバス停へのアクセス路など歩行者空間の確保や歩道のバリアフリー化を推進することで、安全・安心で公共交通の利用促進につながる歩行環境の整備を推進。													随時整備	随時整備	随時整備	随時整備	随時整備					
						・公共交通へのアクセス向上を支える自転車の走行空間や駅周辺駐輪場の整備などにより、安全・安心で公共交通の利用促進につながる自転車利用環境を整える。																	順次整備	順次整備	順次整備	順次整備	順次整備	
						・鉄道駅周辺の安全でスムーズな通行を確保するため、放置自転車の即時撤去などの取り組みを継続し、放置自転車の削減を推進。																		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

